

精密総発熱量測定用 自動垂直型熱量計

商品番号: KT-TE2



前書き

精密なラボ分析用に設計されたこの自動垂直型熱量計は、石炭および液体燃料の総発熱量を正確に測定します。自動注水機能、0.0001 Kという卓越した分解能、不揮発性データメモリを備え、厳しい産業環境下での完全な試験コンプライアンスを実現します。

詳細を学ぶ

用途	説明	主な利点
石炭品質評価	原料炭、微粉炭、洗浄分、および尾鉱の定量的な発熱量プロファイリング（等級付けおよび取引評価用）。	手動注入の偏差を排除し、正確な関税分類と契約履行を保証します。
火力発電	ボイラー燃料供給の継続的な発熱量検証（空燃比の最適化および発電熱効率の計算用）。	15分の高速サイクルタイムにより、迅速な燃料ブレンドとボイラーのスラグ付着最小化をサポートします。
冶金用コークス製造	高炉操業で使用する原料炭、冶金用コークス、炭素質添加剤の比エネルギー出力の評価。	0.1%の高測定精度により、高炉装入時の厳格な熱管理を保証します。
石油燃料試験	重油、ディーゼルブレンド、残留スラリー、石油コークス製品の正味および総発熱量の決定。	再校正なしで、標準化された炭化水素燃料燃焼法に直接準拠します。
セメント原料分析	プレカルシナーキルンに投入される黒色原料および代替廃棄物由来燃料の発熱量測定。	代替燃料の正確な熱入力指標を提供し、キルン温度の偏差を防止します。
商用検査ラボ	独立認証機関、税関施設、環境監査機関向けの大量バッチ試験。	不揮発性メモリが、オペレーターの交代や突然の停電時でも校正の完全性を保護します。
鉱山廃棄物および脈石回収	流動層燃焼または埋め戻し処理の実現可能性を評価するための、石炭脈石の残留発熱量評価。	0.0001 Kの感度により、低エネルギー炭素質廃棄物の微弱な熱上昇を捕捉します。

パラメータ分類	仕様詳細 (KT-TE2)
システム熱容量	約 10500 J/K
温度分解能	0.0001 K
試験精度	0.1% (安息香酸標準試料)
標準的な試験時間	サンプル1回あたり約15分
外側水バケツ容量	40 L
内側水バケツ容量	約 2.3 L
定量注入公差	≤ ±0.1 g
点火動作電圧	24 V

パラメータ分類	仕様詳細 (KT-TE2)
点火タイミングシーケンス	5分間の時限点火サイクル
温度測定範囲	0°C ~ 65°C
動作周囲温度	5°C ~ 40°C
消費電力	< 300 W
動作電源	AC 220 V ±10%, 50 Hz
準拠規格	GB/T 213-2008, GB/T 483-2007, JC/T 1005-2006, GB/T 384
システム制御・自動化	自動注水、温度調節、定量注入、攪拌、点火機能を備えた統合MCU
データ永続性	不揮発性ハードウェアストレージ（電源なしでも校正および試験データを保持）
PCインターフェース (オプション)	Windows対応監視ソフトウェア制御用USBハードウェアインターフェース